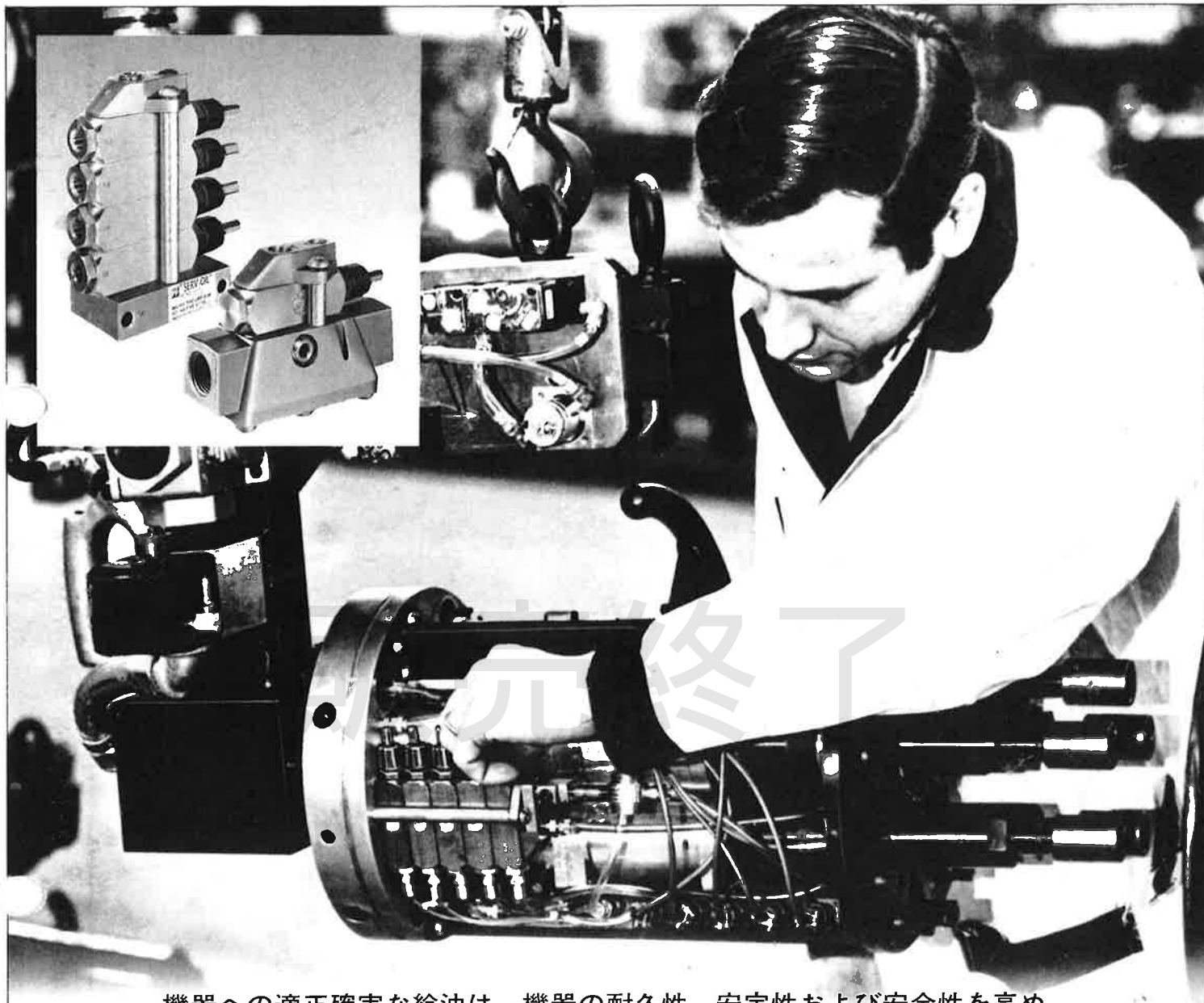


コガネイ MP給油装置

強制給油方式
ルブリケーター

南光長田

- シングルポイントルブリケーター (MPS1) ● シングルポイントルブリケーター (MPS1-CYL) ● マルチポイントルブリケーター (MPM1 ~ MPM10)



機器への適正確実な給油は、機器の耐久性、安定性および安全性を高め、膨大な経費節減がはかれます。

● 確実な給油ができます。

一般のルブリケーターでは、配管の長さ、配管方法に影響されますが、この方法では、給油箇所へ直接、油専用配管で圧送するため、確実な給油が出来ます。

● 給油量にムダがありません。

給油が、必要な時に、必要箇所へ、必要量だけできるため、過剰給油がなくなります。油で作業場を汚すこともありません。

● 使用条件に合わせて個々に微調整できます。

1/30 ~ 0ccまで50段階に調整できます。

● 集中給油管理が容易です。

集中給油システムにすれば、オイルタンクが1個だけですみ、オイル補給管理が容易になります。

● 空気圧機器の給油のほか、液体の定量吐出および機械潤滑用にも使えます。




空気圧機器の総合メーカー

コガネイ

株式会社 小倉井製作所

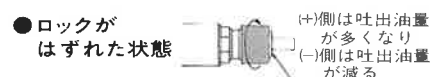
連絡なく仕様を変更することがありますがご了承ください。

仕様と用途

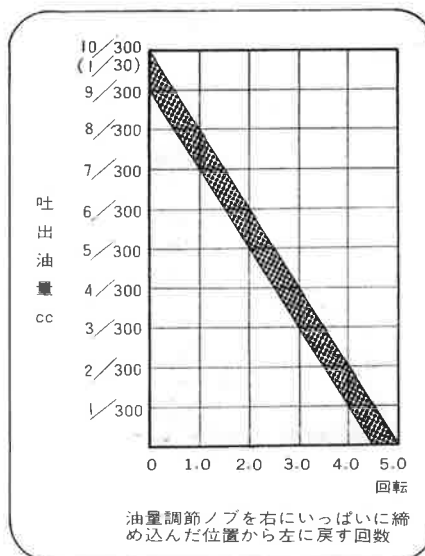
項目	シングルポイントルブリケータ		マルチポイントルブリケータ
	形式 MPS1	形式 MPS1-CYL	形式 MPM1～MPM10
名称 形式			
外観			 (MPM4)
主 な 用 途	<ul style="list-style-type: none"> ●単軸エアツール用 ●エアモータ用 ●液体のミスト吐出 (エアラインの中に組み込み、エアが流れる時の圧力降下を検知してオイルを吐出します。オイルチューブはエアホースの中に通します。	<ul style="list-style-type: none"> ●エアシリンダ用 (バルブの下流のエアラインに組み込み、エアのON、OFF信号でオイルを吐出します。オイルチューブはエア配管の中に通します。	<ul style="list-style-type: none"> ●多軸エアツール用 ●多数のエアシリンダ用 ●多数のエアバルブ用 ●エアモータ用 ●液体の定量吐出 ●各種機械潤滑用その他 (エアパイロットを受け、多数カ所へオイルを吐出供給します。エア配管とオイル配管は別になります。
使用空気圧	3.2～9bar (メイン)		3.2～9 bar (パイロット)
作動に必要な最少空気流量	140 Nℓ/min		—
オイル吐出量	1/30～0 cc/cycle (1/1500 cc づつ50段階に調整可能)		
圧力降下量	0.14bar(2850Nℓ/minの時)		—
使用オイル粘度	ISO VG 15～ISO VG 460 (15～460cst/40℃)		
推奨オイル	「ホワイトルブ 32」「ホワイトルブ 68」(出光製、無臭、低公害オイル)		
配管接続口	メインエア配管口	PT 1/2 (IN, OUT)	—
	パイロットエア配管口	—	PT 1/4 (マウンティングブロック底面) PT 1/8 (上部クランプ部) 計2カ所
	オイル供給口	PT 1/4 (本体側面および上部クランプ部) 計2カ所	PT 1/4 (マウンティングブロック底面および上部クランプ部 計2カ所)
	オイル吐出口	タケノコ継手外径2.3mm メインエア配管口のOUT側の中心にあり、専用チューブ(形式 18NY) 使用	PT 1/8 (外径φ3.1用の専用継手(形式 18C)および専用チューブ(形式 18NY) 使用)
重 量	0.75 kg	0.74 kg	0.27×連数個+0.23 kg
標準構成部品	<ul style="list-style-type: none"> ●ルブリケータ組立品 1組 (形式 MPS1) ●オイルチューブ (形式 18NY×7.5) 7.5m 	<ul style="list-style-type: none"> ●ルブリケータ組立品 1組 (形式 MPS1-CYL) ●オイルチューブ (形式 18NY×7.5) 7.5m 	<ul style="list-style-type: none"> ●ルブリケータ組立品 1組 (サーボメータ連数個とブロックキットセット 形式 MPM1～MPM10) ●オイル配管用継手 (形式 18C) 連数個 ●オイルチューブ3m (形式 18NY×3) 連数本 ●ボールチェック弁 継手付ボールチェック弁 (形式 BCL) 連数個 (オイルタンクは別売です。4ページの中から選びください)

吐出油量の調整要領

1. 油量調節ノブの根元部分に、ドライバを差し込んで軽くこじりながら手で引っ張ってロックを外します。
2. ノブを右(+)へ、回らなくなるまで回して、吐出油量を最大にします。
3. 左へ回して、所要吐出量に調整します。大抵の機器は、油量を余り正確に考える必要はなく、周囲を汚したり作業者の苦情が出ない限り、多目に調整しておきます。
4. 調整後、ノブを元の位置まで押し込み、ロックします。



油量調整ノブの回転数毎吐出油量



適正油量 (エアツールの場合)

適正油量は、機器を流れる流量、圧力、内部配管などによって変わってきますが、特に重要なことは、作動一回毎の連続運転時間です。すなわち、同一サイズの機器であっても、一回の連続運転時間が長ければ、油量を多くする必要があります。

参考として、インパクトレンチやナットランナの空気消費量と、一回毎の運転時間毎の標準的な油量調節ノブの位置を示します。

●ノブを右にいったいに締め込んだ位置から左に戻す回数

		一回毎の運転時間 秒		
		2	6	10
空気消費量 m ³ /min	0.3	4.7	4.1	3.6
	0.6	4.6	3.8	3.0
	1.0	4.5	3.5	2.5

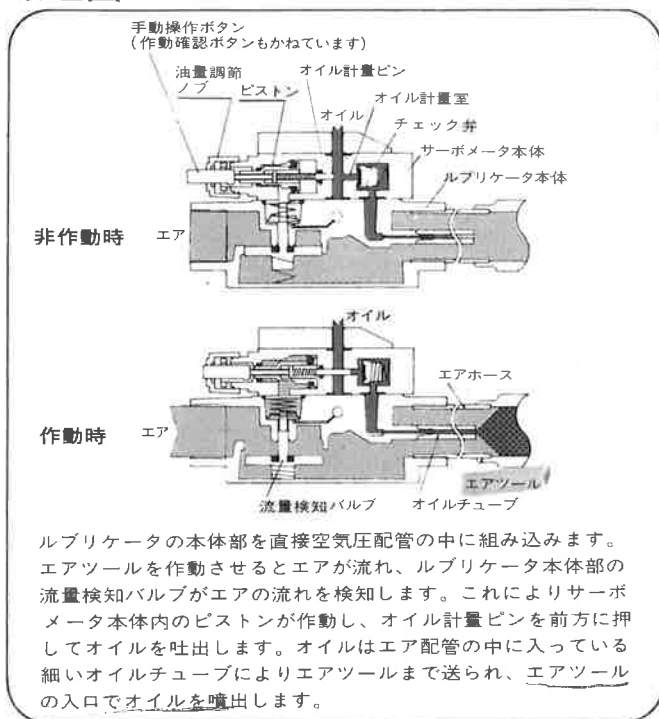
●表の見方

例えば、空気消費量が0.6m³/minのナットランナを一回に6秒間作動させる場合は、ルブリケータの調整ノブを右にいったいに締め込んだ位置から、3回転と8クリック左へ回します。

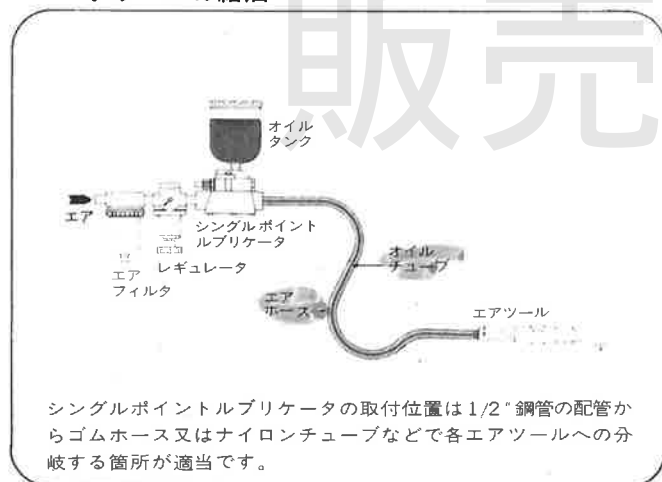
シングルポイント ルブリケーター (単軸エアツール用) 形式MPS1

シングルポイントルブリケーターは各種の単軸エアツールの潤滑に使用し、ルブリケーター1個で1カ所の給油をします。

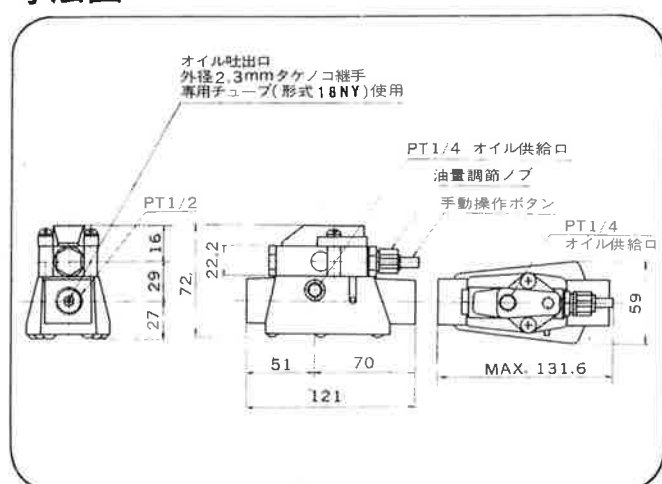
原理図



配管例 エアツールの給油



寸法図

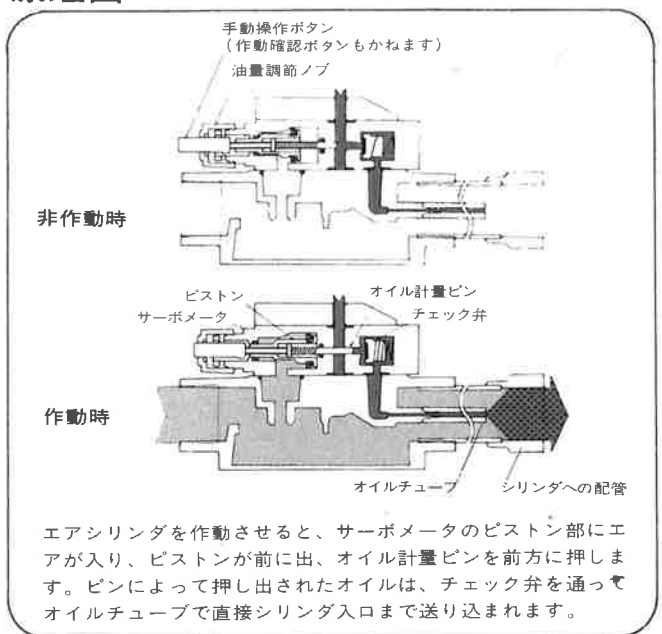


シングルポイント ルブリケーター (シリンダ用) 形式MPS1-CYL

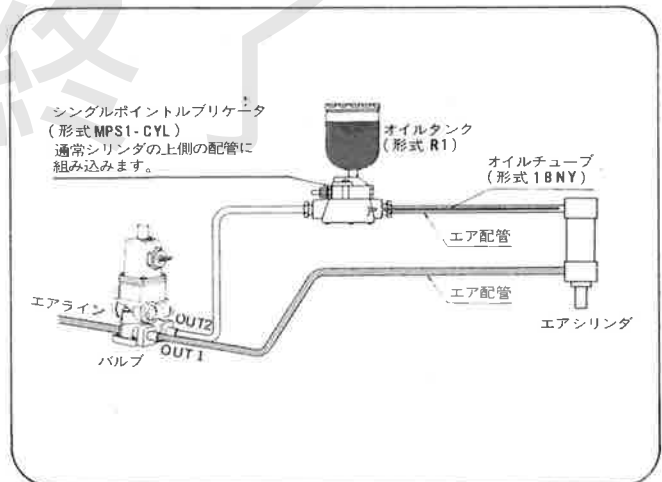
シングルポイントルブリケーターシリンダ用(形式MPS1-CYL)は単軸エアツール用のルブリケーター(形式MPS1)の一部を改造し、エアシリンダ用にしたものです。

注) シリンダが2本以上ある場合は、マルチポイントルブリケーター(形式MPM2～MPM10)をご使用ください。

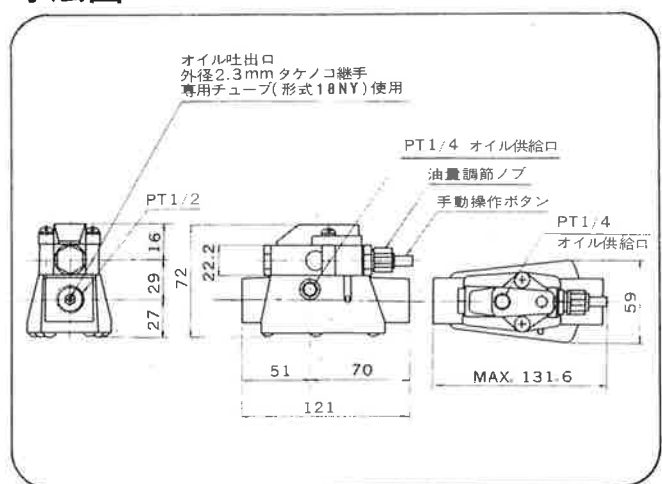
原理図



配管例 エアシリンダの給油



寸法図

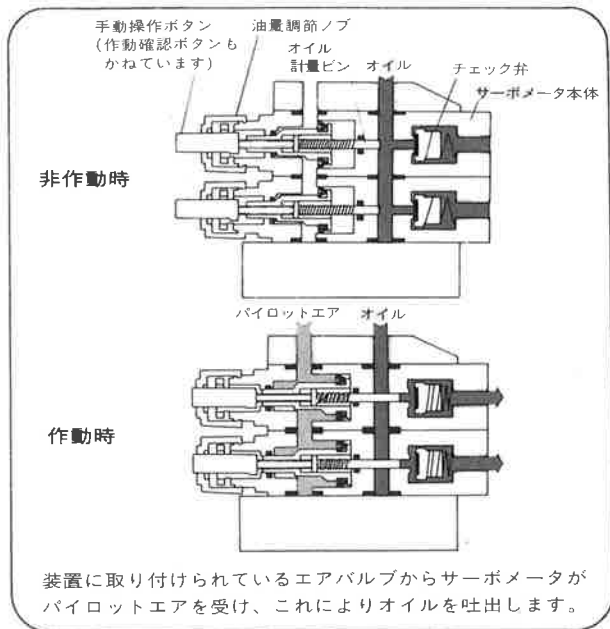


マルチプルポイント ルブリケータ

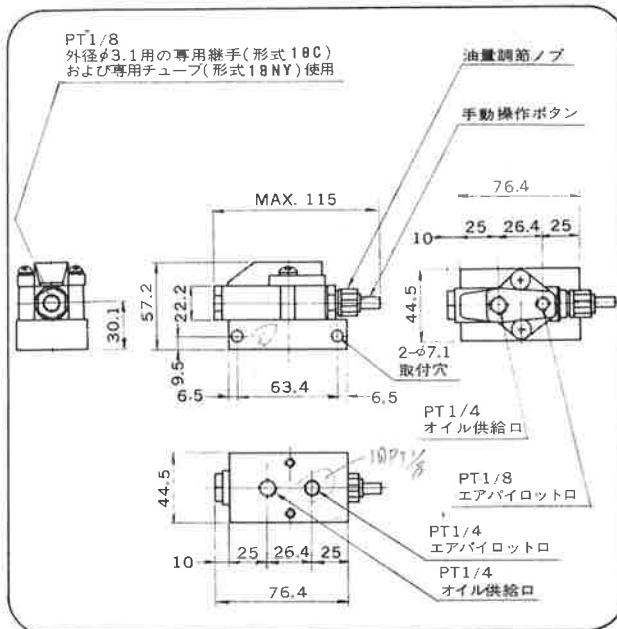
(多軸エアツール・エアシリンダ・エアバルブ)
(その他多用途用 形式MPM1~MPM10)

マルチプルポイントルブリケータは、多軸エアツール・エアシリンダ・エアバルブなどの各種空気圧機器の潤滑に使用します。1台に10個までのサーボメータを取り付けることができ、最大10カ所への給油ができます。

原理図

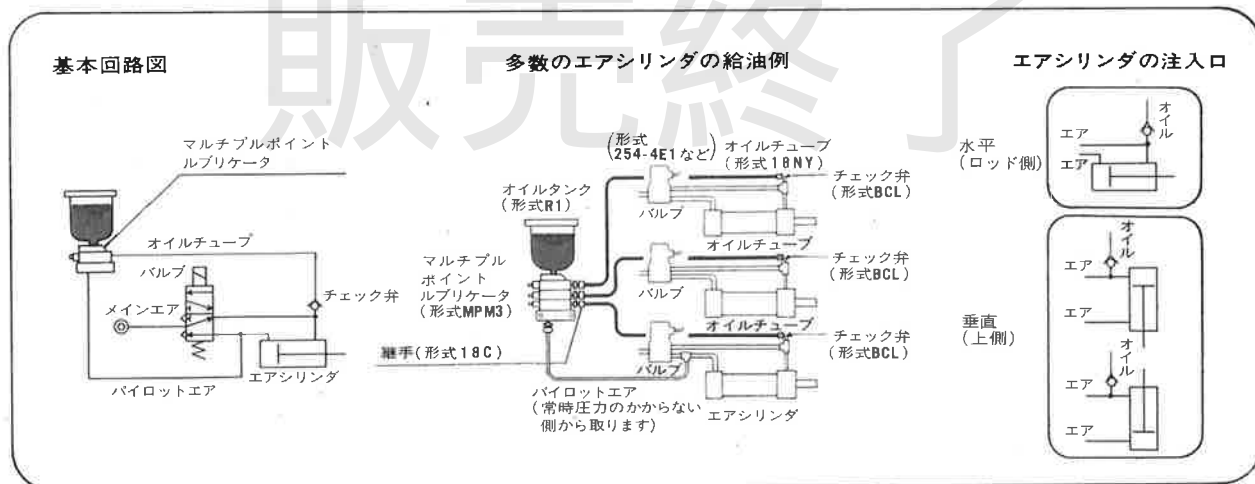


寸法図

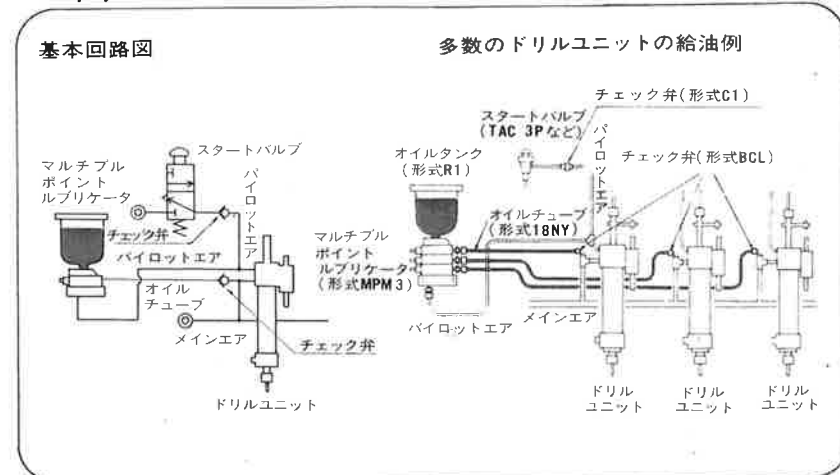


配管例

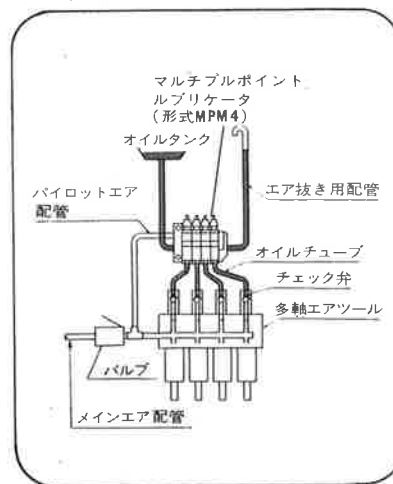
エアシリンダの給油



ドリルユニットの給油



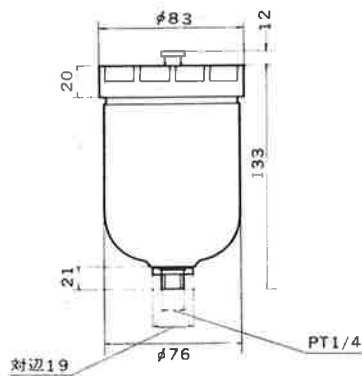
多軸エアツールの給油



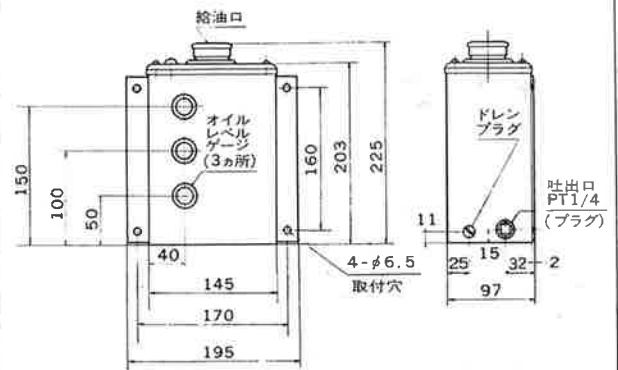
関連機器

オイルタンク

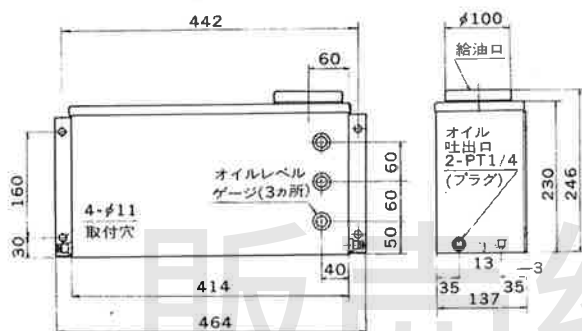
R1 (0.28 ℓ)



R2 (2 ℓ)

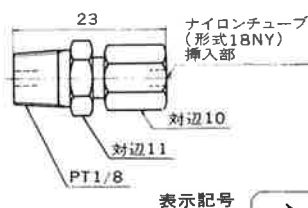


R3 (10 ℓ)



継手・その他

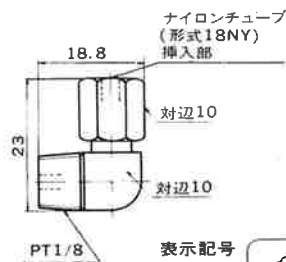
BCS ボールチェック弁 (ストレート)



表示記号



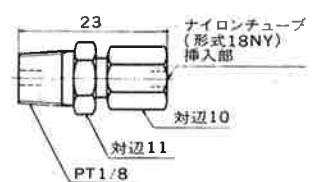
BCL ボールチェック弁 (エルボ)



表示記号



18C 1/8 継手

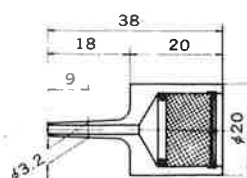


18NY ナイロンチューブ

呼び径 1/8"
(外径 3.1mm, 内径 1.9mm)

E 排気フィルタ

ホコリの多い所などで使用する時、
シングルポイントルブリケータの排
気口 (流量検知バルブ部の排気口)
に差し込みます。



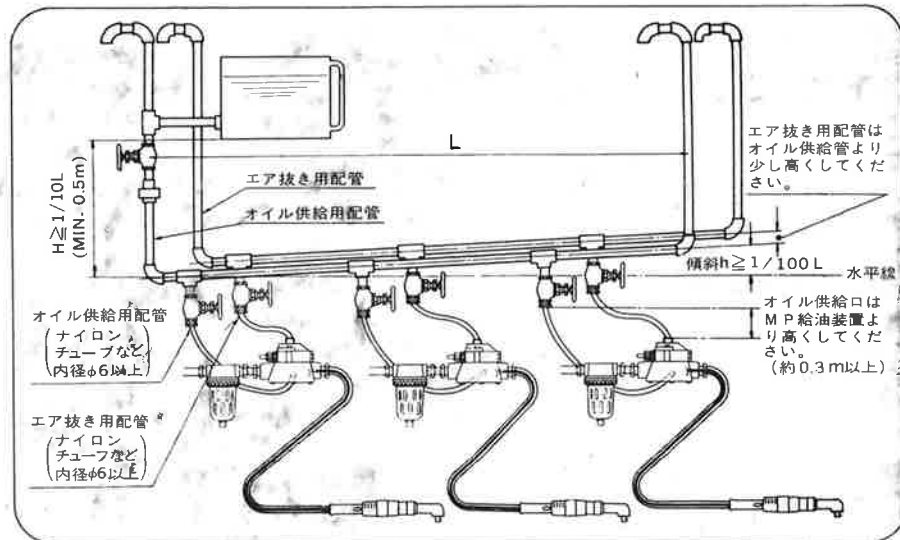
集中給油システム

数箇所のルブリケータにオイルを供給する時には、集中給油システムにすると、オイル補給の手間が省けます。
なお、この場合は、オイル配管の中に気泡が残らないよう、「エア抜き」について充分な配慮をしてください。

配管例（自動エア抜き回路）

オイル配管に、エア抜き用の専用配管を取付けたもので、最も確実にエア抜きのできる配管方法です。

（エアツール用としての配管例）



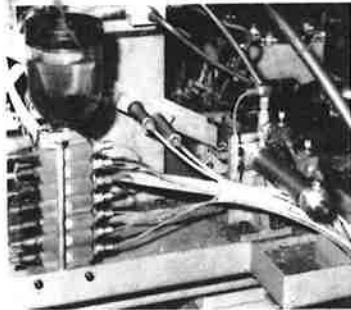
MP給油装置取付上の注意事項

1. MP給油装置の前には、必ずエアフィルタを取付けてゴミが入らないようにしてください。
2. ルブリケータは、吐出油量の調整ができる向きに取付けてください。
3. オイル計量室にエアが入っていると、オイルを吐出しません。その場合はエア抜きをしてください。
4. オイルタンクを、ルブリケータの上に直接取付ける場合は、よいのですが、集中給油システムなどでは、ルブリケータへのオイル供給配管が や になっていると、エアが抜けませんのでご注意ください。
5. オイルタンクには、常にオイルを満しておいてください。もし、オイルなしで運転した時には、オイルをオイルタンクに満したあと、使っていない方のオイル供給口のプラグをゆるめ、オイルを流しながらエア抜きをしてください。
6. オイル配管の継手、プラグには、必ずシールテープなどを使い、洩れを完全にとめてください。

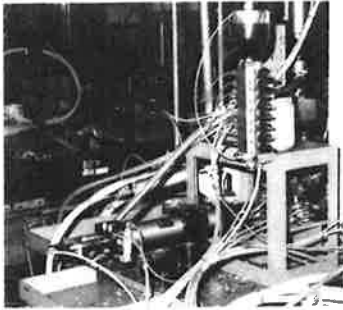
使用例



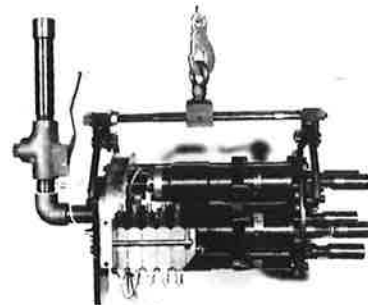
自動車工場における単軸空気動工具の給油（形式MPS1）



専用機に取付けられたシリンダの給油（形式MPM7）



全空気圧穴あけ専用機に取付けられコグネアドリルユニット、搬送シリンダ、制御用バルブなどの給油。（形式MPM8）



マルチナットランナ(5軸)の給油（形式MPM5）

コガネイ

株式会社 小金井製作所

住所変更のお知らせ

○東京営業所は1979年4月9日
移転いたしました。

○本社	100	東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル	☎(03)213-6561 代表
○東京営業所	162	東京都新宿区西ヶ谷本村町34 ヴォーグビル	☎(03)267-9691 代表
○西東京営業所	184	東京都小金井市緑町3-11-2B	☎(0423)83-9611 代表
○北東京営業所	344	埼玉県春日部市粕壁4945 小林ビル	☎(0487)36-1821 代表
○大阪営業所	550	大阪市西区新町1-2-13 新町ビル	☎(06)531-6844 代表
○名古屋営業所	460	名古屋市中区橋2-3-27 セントラルビル	☎(052)322-4444 代表
○広島営業所	733	広島市羽衣町2-20 三景ビル	☎(0822)43-7341 代表
○福岡営業所	812	福岡市博多区博多駅前2-19-29 博多相互ビル	☎(092)411-5526 代表
○長野営業所	399-41	長野県駒ヶ根市下平4255-1	☎(02658)3-5241 代表
○東京事業所	184	東京都小金井市緑町3-11-2B	☎(0423)83-7111 代表
○駒ヶ根工場	399-41	長野県駒ヶ根市下平4255-1	☎(02658)3-5241 代表
駐在所		仙台 静岡 金沢 高松	

代理店